

日本医療社会福祉学会主催
第26回日本医療社会福祉学会大会 事前企画

臨床推論 勉強会

本学会では、2016年9月の第26回大会を「ソーシャルワーカーが挑む臨床推論」というテーマで開催を企画しています。

臨床推論（clinical reasoning）は、「当該患者の疾病を明らかにし、解決しようとする際の思考過程や内容」（大西 2012：2）と定義され、日本では医学領域で先んじて実践・教育の場に取り入れられていますが、近年では薬学、看護学、リハビリテーション学、心理学等の領域に拡大し採用されています。

医療福祉学の領域においても、ソーシャルワーカーはクライアントや家族等への支援において、面接し、情報を集め、解釈し、アセスメントし、介入の絞込みや優先順位をつけながら支援の決断を日々おこなっているといえます。ソーシャルワーカー自身が抱いた気がりや胸騒ぎをも含め、さまざまな情報を思考過程にのせて決断を積み重ね、責任ある支援をおこなうことがますます社会から要請されているといえます。臨床推論では、一事例ずつ対応したソーシャルワーカーの思考過程をたどり、判断のちょっとした誤りやあいまいさをも含めたその思考過程を丹念にたどることで、我々の専門性の醸成に資するものであると考えます。

今回は、医師として実践や教育において臨床推論にとりくむ松井先生をお招きし、臨床推論とは何なのかを入門的にご指導いただく勉強会をまずは企画いたしました。年度末でお忙しい時期と思いますが、ふるってご参加ください。

※引用文献 大西弘高（2012）『The臨床推論』（南山堂）

※参考文献 前野哲博・松村真司（2012）『帰してはいけない外来患者』（医学書院）

開催日時 平成28年3月24日（木）18：00～20：30
講師 松井善典先生（浅井東診療所所長）
会場 キャンパスプラザ京都第一会議室
事前申込み制（定員になり次第締め切ります）

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路939 ☎075-353-9111
京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都駅、JR各線「京都駅」下車徒歩5分

対象：日本医療社会福祉学会 会員及びその他（定員50名）
会費：学会員 無料 非会員 500円
*ただし当日学会への入会手続をしてくださった方は、参加費無料となります

<講師紹介>

松井善典（まつい よしのり）先生

浅井東診療所所長 北海道家庭医療学センター理事

滋賀県出身。2005年滋賀医科大学を卒業後、室蘭・日鋼記念病院での初期研修を経て、北海道家庭医療学センターにて家庭医療専門医コースを修了。その過程で、北海道各地での多様な家庭医療・地域医療のあり方を学びながら、医学教育に関心をもって学生・研修医指導に従事。家庭医療専門医を取得し、2009年から北海道家庭医療学センターのフェローシップコースに在籍し、十勝の更別村診療所の副所長として、家庭医として診療・教育・経営・研究の研鑽を積む。

日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医・指導医

日本医師会認定産業医

日本プライマリ・ケア連合学会 生涯教育委員会 委員

日本プライマリ・ケア連合学会 コアコンピテンシー・知的活性化プロジェクトメンバー

滋賀医科大学医学部 非常勤講師

札幌医科大学医学部 非常勤講師

第26回大会事前企画 臨床推論勉強会 お申込みについて

日時：平成28年3月24日木曜日 18：30～20：30 受付開始：18：00

場所：キャンパスプラザ京都第一会議室

（〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル東塩小路町939）

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都駅、JR各線「京都駅」下車徒歩5分

講師：松井善典先生（浅井東診療所所長）

対象：日本医療社会福祉学会 会員及びその他（定員50名）

会費：学会員 無料

非会員 500円 ＊ただし当日学会への入会手続きをしてくださった方は、参加費無料となります

事前申し込み：メールにて申し込みください。

なお、定員に達した場合お断りをする場合があります。

あらかじめご了承ください。

メールアドレス：ynomura@mail.doshisha.ac.jp 担当・野村まで

①お名前 ②ご所属 ③職種 をお知らせください。

お問合せ：日本医療社会福祉学会理事 野村まで

（メールynomura@mail.doshisha.ac.jp）

第26回日本医療社会福祉学会大会

日程：平成28年9月3日（土）・4日（日） 会場：京都市内（大会詳細は後日発表）

ソーシャルワーカーが挑む **臨床推論**